



ももぐみだより

2020年11月2日

社会福祉法人 尚徳福祉会

園庭で遊んでいると落ち葉や木の実を見つけることが多く、そんな様子からも秋の深まりと冬の訪れを少しずつ感じられる時期になりました。

お兄さんやお姉さんたちの運動会ごっこの練習を見て、「せんせい！よーい、、、どん！やろ！」などリクエストするほど、ますます戸外あそびが好きになった子どもたち。

気温が下がり始める時期ですが、室内の環境や衣服の調節を行い、元気に楽しく過ごせるようにしていきたいと思います。

お散歩楽しいな

手を繋ぐことが上手に

なりお散歩がスタートしました。彼岸花を見つけ「ばんばな！」と嬉しそうに教えてくれる子、柿や木の実を見つけて「鳥さんが食べるのかな」と友だち同士で話す子などいろいろな姿が見られました。最初は並んで歩くことが難しかった子どもたちも、お散歩を何回か繰り返すことによって、前の人を抜かさず歩けるようになってきました。子ども

たちと「来月は公園に行けるといいね」と話をしています。

制作あそび

先月、大きな模造紙を使って、ハンドペインティングをしました。

最初にクレヨンを使って、自分たちの好きな絵を考えながら描きました。その上から絵の具を手付けてドロツとした感触を楽しみながら色付け、ダイナミックな絵のできあがり！それを室内に飾り、「ここは私がやったのー」「僕がやったところはあそこだよ！」など楽しそうにみんなで見ています。

おともだちといっしょ

近頃、クラスでは5,6人のグループを作っておままごとなどで遊ぶ姿が見られるようになってきました。戸外遊びをする際も「手をつないで出かけるよ！」とお話するとパツとその場にいる子の手を取ったり、「〇〇ちゃんと手をつなぎたいの。」と言う子も増えました。遊びや保育園での生活を通して、今まで以上にクラスの結束が強くなってきた姿を私たちはニコニコしながら様子を見ています。

クラスからのあねがい



・進級に向けて、少しずつ身の回りの支度を自分たちでする姿が見られるようになってきました。その為、衣服やオムツ、コップ、歯ブラシ等への記名のご協力を引き続きよろしくお願いいたします。

・新しく保育園用の衣服を用意する際、着がえ時に子どもたちが自分で着替えやすいようなサイズ、素材を考慮し、ご用意いただければと思います。

